

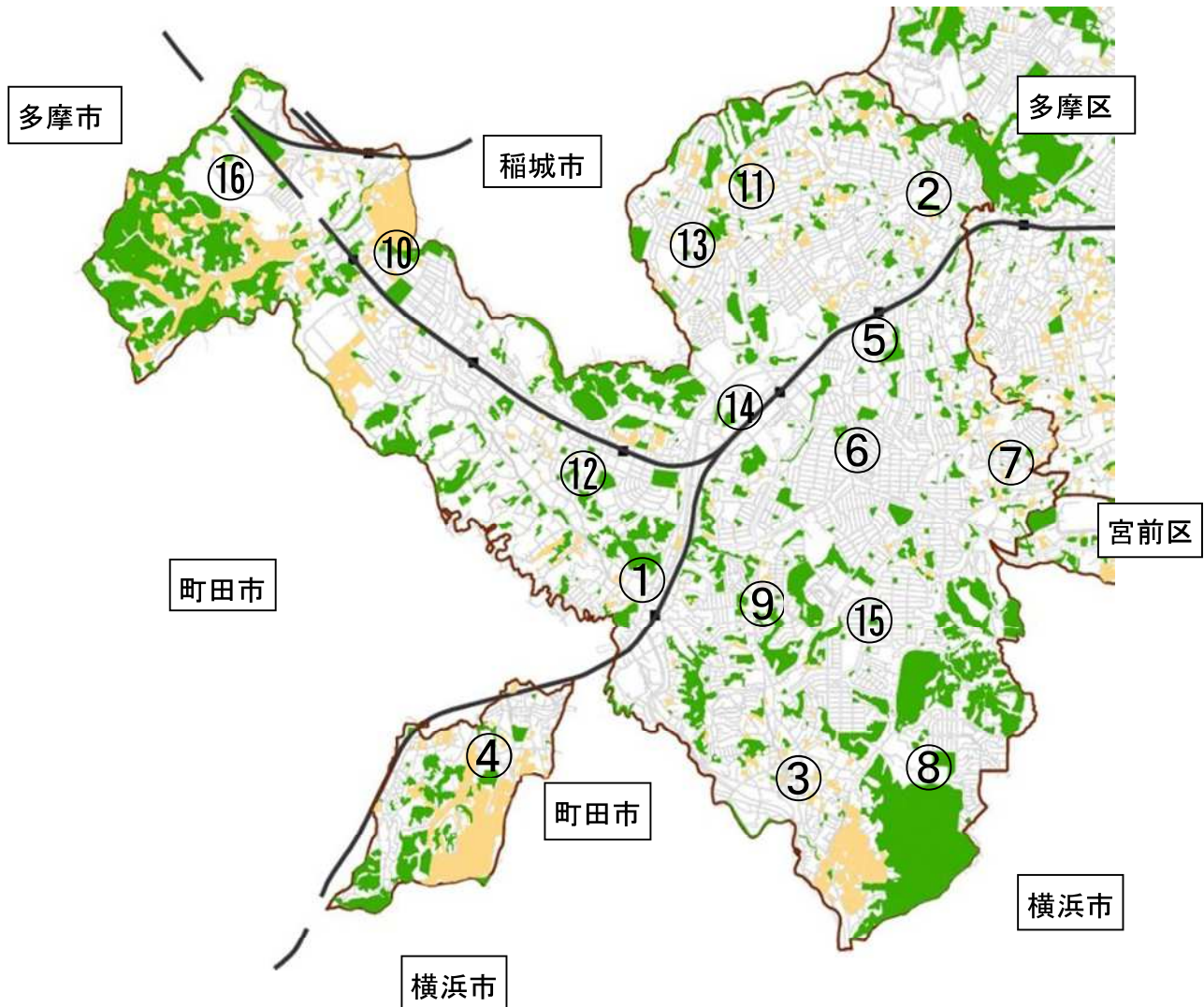
小学校の紹介

麻生区内川崎市立小学校 16 校の
地域との多様な関り、総合学習などを紹介します。

麻生区内川崎市立小学校のマップ No.①～⑬

(麻生区の緑の図にのせました)

No.	学校名	No.	学校名	No.	学校名	No.	学校名
①	柿生小	②	西生田小	③	東柿生小	④	岡上小
⑤	百合丘小	⑥	南百合丘小	⑦	長沢小	⑧	虹ヶ丘小
⑨	真福寺小	⑩	栗木台小	⑪	千代ヶ丘小	⑫	片平小
⑬	金程小	⑭	麻生小	⑮	王禅寺中央小	⑯	はるひ野小



小学校紹介 もくじ

マップ No.	学校名	ページ
①	柿生小	S. 1, 2, 3
②	西生田小	S. 4, 5
③	東柿生小	S. 6, 7, 8
④	岡上小	S. 9, 10, 11
⑤	百合丘小	S. 12, 13
⑥	南百合丘小	S. 14, 15
⑦	長沢小	S. 16, 17
⑧	虹ヶ丘小	S. 18
⑨	真福寺小	S. 19
⑩	栗木台小	S. 20, 21
⑪	千代ヶ丘小	S. 22, 23
⑫	片平小	S. 24, 25, 26
⑬	金程小	S. 27, 28, 29
⑭	麻生小	S. 30, 31
⑮	王禅寺中央小	S. 32, 33
⑯	はるひ野小	S. 34

学校紹介表の 1 段目の児童数は 2024 年 4 月時点でのもの



川崎市立 柿生小学校

校 長 杉本 眞智子
児童数 831 名

住所 〒215-0023 川崎市麻生区片平 3-3-1 電話 044-988-0019

(学校創立)

1873 (明治 6) 年 8 月

〈学区域〉

片平1丁目4番

片平2～4丁目

上麻生

上麻生4丁目52～57番

上麻生5、6丁目

上麻生7丁目1～25番、27～32番、
34～38番、39番7号～40～44番

校歌

(昭和 34 年制定) 勝 承夫 作詞

平井 康三郎 作曲

- | | |
|--|--|
| <p>1 みどりの丘に山鳩の
歌がきこえる羽音がひびく
平和な柿生あかるく晴れて
すすすくのびるよ日にのびる
われらは強い子日本の力</p> <p>2 なかよくいつも元気よく
はげむ勉強きたえるからだ
光もなごむ林に里に
まるまる色づく禅寺丸
自律の気風も楽しくみのる</p> | <p>3 今年もかえれ空とおく
渡る小鳥に世界を思う
夢わく柿生心をそろえ
みんなで進むよ日に進む
われらは明日まつ日本の力</p> |
|--|--|



学校・家庭・地域 オール柿生のウェルビーイングをめざして

柿生小は、「学校・家庭・地域 オール柿生のウェルビーイングをめざして」をコンセプトに児童・保護者・地域の方々・教職員など、柿生に携わる全ての人に幸せを感じてほしいという思いを込め、教育活動を行っています。

歴史と伝統に支えられ、地域に愛されて育っている柿生小の児童達。今年も地域の方々や関係機関のご協力で、全学年が様々な体験活動を展開することができました。



1年生

- 生活科「たのしい あき いっぱい」の学習では、環境センターにある「緑の公園」にお弁当を持って、秋探しに出かけました。たくさんのどんぐりや色鮮やかな落ち葉などを見つけて喜んでいました。また、お世話になった 2 年生を招待して「どんぐりまつり」を行いました。ドングリごま・迷路・楽器・けん玉・的当てゲームなど工夫を凝らしたお店屋さんを開き、交流を楽しんでいました。子どもたちは、仲間と協力し、自分たちで一から作り上げていくことで、達成感を存分に味わうことができました。

- 9 月、「のびのびファーム」で大根の種植え体験をしました。まだまだ暑さの厳しい日でしたが、子ども達は元気いっぱいでした。ピンク色の大根の種を見て「かわいい!」「小さい!」「初めて見た!」と驚いていました。もらった種を大事そうに握り、畑に丁寧に植えました。また、12 月にはその収穫体験もさせていただきました。大きく育った大根を力いっぱい抜き「大きすぎてビックリ!」「おうちで、早く食べたい!」と収穫した大根を大事そうに抱えて持ち帰りました。



2年生



- ・ 5月、のびのびファームの畑でサツマイモの苗を植える体験をしました。丁寧に植え方を教えていただきました。11月、収穫に行きました。大きく育ったサツマイモに子供たちは大喜びでした。
- ・ 生活科で町たんけんを行い、学区やお店、公共施設などを見学しました。柿生のまちのすてきな人や場所を発見することができました。地域の方々の温かい気持ちや笑顔に触れ、柿生の町がもっと好きになりました。

3年生

- ・ 前期までの総合の学習で「柿生小のヒーロー」達について調べました。自分たちの学習活動や安全を守ってくれる方々の数の多さに驚くだけでなく、インタビューをすることで「想い」や「心」を知ることができました。たくさんの人達に支えられて生きていることを改めて感じました。



- ・ 後期の総合の学習では「柿生のヒーローをさがせ」について調べました。大正時代より片平地域に伝わる「片平囃子」の方に来ていただき太鼓をたたき体験をしました。この活動を通して伝統文化に興味をもって調べるきっかけとなりました。
- ・ 社会科の学習で川崎市の様子見学しました。麻生区から多摩区にかけての自然豊かな様子、多摩川に接する住宅街やビジネス街、海を有効活用した土地づくりなど、区によっての特色があることに気が付きました。

4年生



- ・ 社会科の学習では、川崎市のごみ処理や飲料水の供給について学習しました。実際に働く様子を知ることを通して、自分たちの生活が多くの人に支えられていることを学びました。

- ・ 総合的な学習の時間では、防災について学習をしました。自衛隊の方に来ていただき、実際救助をした時にどのようなことをするのか聞いたり、自分たちにもできる応急処置方法を体験したりしました。学習の振り返りでは、自分たちにもできることがたくさんあると考えていました。
- ・ 学習したことを地域の方に伝えたい、という思いで上麻生東町内会の自主防災訓練に参加し、調べたことをテーマ別に分かれて発表しました。

5年生



- ・4月はじめから「柿生の里クラブ」の方々に協力していただきました。春の竹の子掘りから始まり、何度も自然観察に行きました。「おっ越し山」「柿生の里」で里山の保全活動に参加させていただき、人の手が入ることで、豊かな自然が育まれていることを体感しました。また、本校の保護者の専門家にお話をうかがい、柿生に残された身近で豊かな自然に目を向けていく学習に取り組みました。体験し、お話をうかがう中で関心をもったことについて、一人一人が課題を決めて取り組みました。都心に近く交通の便が良い柿生のまちでも、生き物の多様性がみられるなど、自然の魅力を実感することができました。

6年生

- ・総合的な学習の時間では、地域のお店や公共施設など、身近な所での SDG s に向けた取り組みを調べ、自分たちにできることを考えました。

ペットボトルキャップの回収を地域へ呼びかけてワクチン支援活動に協力したり、古着回収をしてフリーマーケットを開きユニセフに募金したりしました。また、地域清掃を行ったり、廃油から石鹸をつくったり生活の中でできる活動にも取り組んできました。

個人での活動よりも人や社会とつながっていくことで、大きな成果が得られることを学びました。



学習室



- ・夏菟太鼓の先生から「うさぎのもちつき」「寄せ太鼓」を教えていただき、和太鼓体験をしました。
- ・夏野菜の栽培では、ピーマン、ナス、ミニトマトを育てました。また、学校の畑でサツマイモを育て、茶巾しぼりを作りました。学校公開日に合わせ、参観する保護者の方々と一緒にサツマイモの餡を丸めて作りました。



川崎市立 西生田小学校

校 長 樋口 彰
児童数 850 名

住所 〒215-0001 川崎市麻生区細山 2-2-1

電話 044-966-5161

学校の創立

1864(元治元)年	細山に寺子屋「真川堂」が開かれる
1875(明治8)年	香林寺本堂に細山分教場ができる
1892(明治25)年	尋常第二生田小学校として独立
1938(昭和13)年	川崎市立生田尋常高等小学校細山分教場となる
1941(昭和16)年	川崎市立生田国民学校細山分教場となる
1947(昭和22)年	川崎市立西生田小学校として発足
1960(昭和35)年	現在地に移転



校歌

中村 雨紅 作詞 海沼 実 作曲

- 雲一つない空のした
目にしむ緑の野や山に
お伊勢の森の風かおり
光あふれる西生田
日毎に栄える我が学校
- 小鳥よ花よ窓近く
希望豊かに胸を張り
いつでも楽しく学ばわれ
明るく正しく元気よく
みんな仲よく伸びてゆく
- 名前も眺めも美しく
清く絶えない多摩川の
流れは世界に続く水
輝き仰ぐ人の世の
文化も平和もここに湧く

ああ 栄えある西生田小学校

西生田のまちをたんけんしよう

2 年生は生活科で、西生田のまちのすてきなところを見つける学習を行いました。

単元の導入時には、校区内の場所やお店の写真を見ながら、クイズを実施しました。すると、「ここいつも通るよ!」や「夏休み、おじいちゃんとカブトムシを探しに行く約束をしている場所だ!」、「ここのチョコレートケーキおいしいよ!」など、子どもたちは目を輝かせながら声を弾ませました。それから、実際に行って場所を見てみようという意見があがり、校区を全員でぐるっと歩きました。



そのあと子どもたちは、絵や文ですてきポイントを表現したカードをそれぞれ作成し、学級全体で校区マップにまとめました。その中には、「麻生多摩美の森」が含まれています。この森は、公園とは比べものにならないほど広く、幼い頃から遊び場として親しまれてきたようです。

「春は、花や草がどんどん生えてくるよ! 珍しいのがいっぱい!」、「夏は、セミやカブトムシ、クワガタなど、いろいろな虫が住んでいるよ!」、「秋は、ふかふかの落ち葉のプールで寝っ転がったり、どんぐりや松ぼっくりで工作したりできるよ!」、「冬は、歩くとシャリシャリって音がきこえたり、息をはくと白いのが見えたりするよ!」など、季節の移り変わりとともに変化するこの森の様子について、思い思いの意見を交わしました。



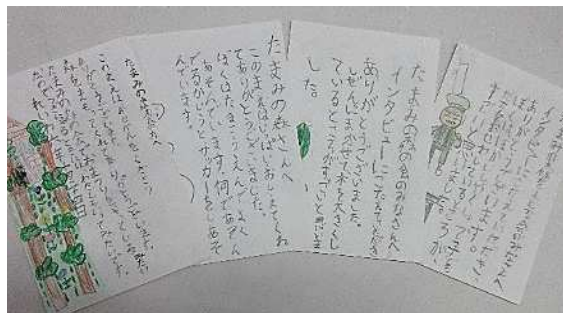
まちのすてきなところについて話し合う中でうまれた疑問を解消するために、小グループに分かれて質問内容を相談し、あいさつのしかたをグループで考え、探検に出かけました。地域の自然環境を守り、保全する活動をしている「麻生多摩美の森の会」の方々にインタビューを行いました。インタビューでは、草刈りや伐採、昆虫や植物の調査、植樹、野菜の栽培、清掃活動など、さまざまな取り組みを行っていることをお話ししていただきました。そのおかげで、わたしたちが遊べる森がつけられていることに気づき、「森を守る活動をしている人たちがいるから、ぼくたちの秘密基地があるんだね!」という声が上がりました。

さらに、「令和2年市区町村別生命表の概況」によると、わたしたちの西生田を含む川崎市麻生区は男女ともに長寿日本一であることを知った子どもたちは驚きとともに歓声を上げました。この地域は、「麻生多摩美の森」をはじめ、豊かな緑に恵まれ、老若男女問わず思い切り体を動かすことができる環境が整っていることが改めて実感された瞬間でした。



学級に戻ると、「インタビューで学んだことを他のグループにも伝えたい!」という思いから、絵日記や新聞、リーフレットなど自分で選んだ方法でその情報をまとめました。それらを持ち寄り、発表会を開いて学級の友だちと共有しました。

学校を飛び出して、自分の足と耳と目で学んだ子どもたちにとって、「麻生多摩美の森」はより一層思い出深い場所となったことでしょう。





川崎市立 東柿生小学校

校 長 井上 清一
児童数 405 名

〒215-0018 川崎市麻生区王禅寺東 6-3-1

電話 044-988-0017

〈学校の創立〉

1873(明治6)年 下麻生学舎が麻生不動院を
仮校舎にして始まる

(↓この間は学校のホームページの沿革史をご覧ください)

1947(昭和22)年 川崎市柿生国民学校下麻生
分教場が、「川崎市立東柿生小学校」となる

〈学区域〉

王禅寺西8丁目24,25番40～43号

王禅寺東5丁目47番21～28号,48～51番
52番3,18～31号,53～55番

王禅寺東6丁目

上麻生7丁目26,33,39番1～6号

下麻生11番

下麻生1丁目

下麻生2丁目1～11,15～48番

下麻生3丁目

早野(1150番を除く)

校歌

(東柿生) S.37.3.5 制定

勝承夫 作詞 平井康三郎 作曲

- 1 丘越え野超え 吹いてくる
風が教える 新しい
世界の文化 若い雲
進取の精神 東柿生
われらもたゆまず やりぬく子供
- 2 その名も薫る 禅寺丸
柿の色どり 美しく
平和の光 みちわたる
あふれる健康 東柿生
心をそろえて みんなで実る
- 3 大海めざす 鶴見川
いまは小さい われらにも
大きい明日の 夢がある
のびゆく学校 東柿生
仲良く楽しく 進もうわれら

6 年生が里山で取り組んだこと

「KEEP THE 里山大作戦! ～豊かな自然のために私たちができること～」

○里山を引き継ぐ

昨年の3月に6年生から里山の引き継ぎ式があり、里山を今まで引き継いできたことの意味や保全することの必要性、そのためにどんなことをするとよいのか、を教えてもらいました。そこで「今後、里山を大切に残していくために自分たちができることはどんなことで、引き継いでいくためにどうしたらいいのか。」を考えながら今年度の活動を行ってきました。

○筍掘り

4月、東京農業大学の鈴木先生や学生の方々にお手伝いをしながら筍掘りをしました。その際、筍を掘らずに生長し続けると、太陽の光が入らない暗い竹林になってしまうことを教えていただきました。思っていた以上に斜面が急で、筍を抜くのは大変でしたが、友達と協力してたくさん掘ることができました。掘った筍は、家に持ち帰り、筍ご飯やメンマなどにして美味しくいただきました。



○里山について知る

6 月、川崎市の緑政局の方から里山とはどんな場所であるかお話を聞きました。私たちが活動している里山以外にも麻生区には里山があることや里山を守っていく必要性、それを支えているボランティアの方々の存在など、様々なお話を聞くことができました。具体的な話を聞くことでより里山を身近に感じ親しみが湧いてきました。そこで、一番身近である里山ボランティアの方々とお会いして、一緒に活動することとしました。



○笹刈り

今年はとても暑く、なかなか里山に足を運ぶことができませんでしたが、ようやく暑さが落ち着いた 9 月に笹刈りを行いました。里山ボランティアの方々と相談し、今まで先輩方が植樹をしてきた場所を笹刈りすることにしました。木は植樹をしてから立派に育つまでに 30 年近くかかり、その間も絶えず整備をしていかなくてはならないことを知りました。笹刈りもその整備の一つで、木の周りを覆っている草を刈ることで育てたい木の根元などに日光が当たり大きく育つのだそうです。自分たちも含めて、今後、6 年生が植樹した場所を中心に笹刈りをしていくことで、植えた木々が大きく育つ助けになるようにしていきたいと思いました。



○竹で物づくり

里山には整備のために切った竹がたくさんあります。そこでその竹を使って何か物が作れないか、里山ボランティアの方々に相談し、竹の「一輪挿し」を作ることにしました。竹はとても硬くて丈夫なため、切るのがとても大変です。里山の炭焼き小屋をお借りして、里山ボランティアの方々に手伝ってもらいながら一人一つ以上作ることができました。



○里山散策

今まで里山の入口付近でしか活動をしていなく、5年生に引き継ぐにはあまりにも知らないことが多いことがわかり、里山を散策することにしました。里山に詳しい東京農業大学の鈴木先生にお願いして、里山の一部を1時間半ほどかけて案内をしてもらいました。予想以上に険しい場所や急な斜面が多く驚きました。それは、昔の地形にも関係していることを教えてもらいました。また、今ではめずらしくなってしまった植物や東京農業大学の学生さんが活動したことなども教えてもらい、引き継いで大切にしていこうことの重要性を感じた散策でした。



○炭焼き小屋での焚火

里山で冬の楽しみはないか、と里山ボランティアの方々に相談し、12月から火を使うことができる炭焼き小屋で焚火体験をさせてもらいました。代表の子どもが火の点火することから始まり、クラスごとに炉の周りでマシュマロを焼いて食べました。初めて焚火を経験する子ども達もいて、火の燃え方や温かさにとっても癒されました。里山ならではの体験に、子ども達はとても喜んでいました。



○KEEP THE 里山大作戦！～豊かな自然のために私たちができること～

私たちが活動してきている里山は、東柿生小学校の6年生が自分たちのできる方法で代々引き継いできました。次の6年生にも引き継いでいき、大切にしていきたいと願っています。そのために5年生への引継ぎ会の計画と準備を進めています。また、お世話になった緑政局の方や東京農業大学の鈴木先生、里山ボランティアの方々にもお声かけしようと思っています。

6年生が作った12グループに5年生が一緒に入ってもらい、「炭焼き小屋」「植樹・笹刈り場所」「筍掘りの場所」3つを巡りながら散策し、自分たちが活動したことや伝えたいことを場所ごとに発表します。



活動の最後には植樹を行い、今後も里山が残っていけるように大切にしていきます。



川崎市立 岡上小学校

校 長 齊野 裕子
児童数 2 2 5 名

住所 〒215-0027 川崎市麻生区岡上 675-1 電話 044-988-8367

<学校の創立>

1873 (明治 6) 年 岡登学舎開設



この間の変遷は学校ホームページ

～資料集おかがみ～

学校のうつりかわりを参照

1987 (昭和 62) 年

川崎市立 岡上小学校開校

<学区域>

川崎市麻生区岡上 (全域)

校歌 S. 62. 10. 19

作詞 森久保 安美

作曲 加藤 知典

1、歴史を語る 丸山に

今日も明るく 声ひびかせて
学ぼう 遊ぼう いきいきと
みがいて伸ばす ゆたかな個性
ふれあい楽しく そだつ友情
かがやけ 岡上 岡上小学校

2、光みなぎる 大空に

未来をひらく 夢はぐくんで
語ろう 歌おう 胸あつく
日本の明日に もやす命を
招く宇宙に おどる心を
はばたけ 岡上 岡上小学校

テーマ 「^{おかがみまるやま}里山 (岡上丸山) を生かした豊かな体験活動」

本校の裏には丸山という小さな山 (標高 55 m) がある。この山は地域の方のご厚意により、長年、岡上小学校の教育活動の中で自由に活用できる環境として位置づけられてきた。平成 27 年より、川崎市の市有地となり、岡上丸山特別緑地保全地区として保全管理されていくこととなった。専門家や地域の方々、保護者・子どもたちなどから広くアイデアを募り、どのような形で丸山を活用保全していくのかを考えてきた。現在、専門家・地域の方と連携を図りながら子どもたちに学習の場として提供されている。

丸山には、多様な植物の植生が見られる。さらに野鳥の美しい鳴き声が校舎内にまで響くことがある。丸山の麓には谷戸が広がり、学区には鶴見川も流れている。岡上小学校では、こうした丸山、田んぼ、畑などの自然を生かした体験活動を通して、心豊かな児童の育成を目指している。

主要内容

1 年を通して季節ごとに、地域の方のご指導・ご支援を受けながら農作物の栽培活動を行っている。特に、5 年生の稲作の学習では、地域の方の手厚いご指導・ご支援を受けながら保護者の協力もおおき、もち米づくりを体験している。

また、6 年生は、里山を題材として総合的な学習の時間のテーマを設定し、保全活動や丸山の存在価値を改めて大切に身近に感じられる活動を展開している。

こうした活動は、体験学習カリキュラムとして生活科や総合的な学習の時間に位置づけて取り組み、学習の成果や地域とのつながり、感謝を毎年「ふれあい発表会 (フェスティバル)」の中で、地域の方や保護者、ペア学年の児童に向けて発表している。

＜丸山での学習＞

5 年生の学習では、和光大学教授の岩本先生を講師にお招きし、丸山に生息する動植物について解説いただいた。丸山に生息する絶滅危惧Ⅱ類に指定されているキンランが増えてきたことや、貴重な動植物がこの山にはたくさん生息していることを教えていただいた。また、自然・植物委員会の児童も、堂前先生と一緒に丸山の散策をしながら、貴重な動植物について教えていただき、豊かな自然を守っていくことの大切さについてお話していただいた。豊かな自然を守っていくための方法やヒントなどを学ぶことができ、委員会活動を通じて、全校児童への発信も行う予定である。

6 年生の学習では、一年間を通して総合的な学習の時間で丸山での体験活動を行う。4 月は丸山に入り自然の観察をするとともに、タケノコを収穫する活動を行った。収穫したタケノコは、学校給食の献立に加えられ全校に振舞われた。子どもたちにとって身近な自然の恵みを食すことで、自然への興味・関心や大切にしようとする気持ちを培うことができた。また、緑政局、公園緑地協会の方々のご協力により、竹の伐採作業を実際に体験した。ヘルメットと腰ひもに鋸を装着したスタイルで、急斜面の丸山での作業を行った。伐採作業の危険性や大変さを実感するとともに、活動を通して竹林の手入れの必要性を学んだ。今年度は、（昨年までは堂前先生、斎藤先生にお話しいただく機会を設けていたが）明治大学地域デザイン建築科教授、川島先生とゼミの大学院生たちと交流する機会があり、自然の素（丸山で伐採した竹など）を活かしたモノづくりや、丸山保全についての子どもたちのアイデアが形になるためのサポートをしていただいた。この活動や交流から、丸山が子どもたちにとってより身近なものに感じられていた。

7 月には、地域の方や川崎市みどりの建設緑政局、PTA や OB 会の方を含め下草刈り作業が行われた。専門的な知識と長期的・短期的計画のもと、竹の伐採や下草刈りなどの定期的な手入れすることによって、丸山は、より良い自然環境としてこれからもずっと活用することができることを学んだ。

丸山で活動してきたことなども含め、子どもたち一人一人が課題をもち解決していくような活動に取り組んでいく。今年度は「イツツ岡上ワールド」をテーマに資料から調べたり、調べたことを試してみたり、実際に作ってみたりする活動を行った。活動をしてきたことをまとめ、1 月の「ふれあい発表会」では、5 年生の子どもたちやお世話になった地域の方々、保護者の方々に発表する機会を設けた。



タケノコの収穫



丸山たんけん



丸山散策（委員会企画）

＜栽培から収穫＞

本校では、栽培から収穫して味わうところまでの一連の活動を食育活動と位置付けて行っている。また、栽培の過程ではどの学年も、地域の方・地元のマイスターの方々の愛情たっぷりのご支援を受け、ふれあいを大切にしながら体験を行っている。低学年のサツマイモ栽培をはじめ、各学年で野菜の栽培活動も行っている。

3年生は、(株)カシノヤのご厚意で、カシノヤの畑で大豆の栽培をさせていただいた。収穫した大豆を使って納豆に加工していただき、各家庭で味わう経験も岡上ならではの経験である。4年生は、地域の方の指導を基に、苗床に種を埋めるところから始まるきゅうりの栽培を行い、毎年抱えきれないほどの収穫をあげている。収穫した野菜は自分たちで家庭に持ち帰り、家族と味わうことで生産・収穫をすることの喜びを感じることができた。

5年生は、毎年2反の田んぼでの米づくりに取り組んでいる。今年も生産支部やJAの方々にはたくさんの協力をいただき、田植えや稲刈りだけでなく、もみ苗の消毒、育苗箱の土入れ、もみ苗播種、くろぬり（畔に泥を塗りつける作業）、代掻き（田植え前に田に水を入れ土を砕いて均平にする作業、収穫後の脱穀・精米まで、一連の米づくりに関わる体験活動を行った。収穫した米は自校献立の献立として給食の食材で使い、全校で食べる機会を設けることで、他の学年の子どもたちが5年生の活動について知ることにつながっている。また、収穫したもち米で作った餅を味わったり、他学年にも食べてもらったりした。このように、一連の流れとして体験することで、活動の意義を感じることができた。さらに、収穫の一部を次年度の種籾として引き継ぐことで、子どもたちが「大切に米を育てたい」という思いをもつことができた。「ふれあい発表会」では、毎年米を育てる作業について振り返り、取組やそこからさらに課題を広げて調べたことを発表している。また、稲わらを使い、地域の方に縄ないを教わっている。



田植え



稲刈り



縄なない体験

子どもの成長から

岡上の地域素材を生かした豊かな体験活動を通して、子どもたちは豊かな心を育むことができている。自然や生命の尊さを実感するだけでなく、友だちと協力し合いながら取り組むことの良さを感じることができている。また、たくさんの自然に囲まれて体験活動することで、栽培活動の大変さを実感することができ、ありがたさを感じることもできる。

さらに、活動を通してお世話になった人への感謝の気持ちや、地域への愛着が芽生えてきている。子どもたちは地域を生かした教育活動を通し、自分のふるさとである「岡上」を大切にしたいという気持ちをもってほしいと思う。

「ふれあい発表会」では、全学年とも体験活動で得たことを中心に、学年に応じた工夫を取り入れ発表を行った。子どもたちは他の学年の発表を聞くことで、見通しをもって体験に取り組むこともできた。体験を通して、どの子も自分で調べたことやまとめたことに自信をもつことができた。このような成長を支えている里山（岡上丸山）を生かした教育活動を今後も大切にしていきたいと考えている。



さつまいもほり



枝豆の収穫・試食



川崎市立 百合丘小学校

校 長 長嶺 祐介
児童数 810 名

住所 〒215-0011 川崎市麻生区百合丘 2-1-2 電話 044-966-3550

<学区の創立>

西生田小学校より分離独立し
1965 (昭和 40) 年開校

<学区区域>

高石 4 丁目
高石 5 丁目 1 ～ 5、16 ～ 22 番
百合丘 1、2 丁目
万福寺 2 丁目 4 ～ 21 番
万福寺 3 丁目 12 番
万福寺 4 丁目 1 ～ 3 番

校 歌

1

明るい風が 吹きわたる
緑の丘に 美しく
広がる校庭 高い窓
ここよ明日の日に 咲き開く
文化の花の 育つところ
名も百合丘 百合丘小学校

3

香りも清い 白百合を
校旗に高く 誇らしく
理想と仰いで 私たち
進め歌声も 高らかに
宇宙の世紀 称えながら
おお百合丘 百合丘小学校

2

日本の歩み そのままに
日に日に伸びる 川崎の
希望をになって 私たち
みんな健やかに 朗らかに
集まり学び 励むところ
おお百合丘 百合丘小学校

<たのしい あき いっぱい> (1 年)

1 年生は「たのしい あき いっぱい」の生活科の学習で、檜山公園へ秋探しに行きました。秋の自然と関わる活動を通して、秋の草花や樹木の様子から季節の変化に気付き、自然を使って遊ぶ楽しさを味わいました。見つけた秋、木の実や色付いた葉っぱなどを拾い、秋のおもちゃを作ったり、もっと楽しく遊べるように作り方や遊び方を工夫したりして、学習発表会につなげていきました。



<百合丘のまちの すてき、見つけたよ！> (2 年)

2 年生は生活科の学習で、百合丘のまちを歩いてまわり、たくさんの「すてき」を見つけました。児童が普段遊んでいる公園や初めて訪れた場所について、咲いている草花や景色、遊具など、魅力を紹介しました。自分たちが暮らしている百合丘のまちの魅力について、新しく発見したり、さらに愛着をもったりすることができました。



＜町のひみつ みーつけた！＞（3年）

3年生は総合的な学習の時間で、自分たちの町のお“タカラ”について調べ、もっと広めていく活動をしました。社会科の地域巡りで学んだことや気付いたことと結びつけながら考えたり自分でインタビューしたりして調べ、神社やお店、公共施設の秘密など、新しい発見をたくさん見付けていました。互いに学んだことを共有することで、より百合丘の魅力に気付き、自分の町の好き度も高まっていました。



＜自分の命は自分で守る＞（4年）

総合的な学習の時間では、身近な安全防災について考えました。家庭での備えや避難所の役割、自分の登下校する道の危険箇所をハザードマップで確認するなどしました。自分達の街で、起こるかもしれない「もしも・・・」について想定しながら、学びました。学校にある防災倉庫も見せてもらい、地域と協力しながら防災備品の管理・運営を行っていることも知りました。



＜自然環境を守ろう！＞（5年）

5年生は総合的な学習の時間に環境について学習し、屋上菜園で野菜を育てました。地域の方に「どんな野菜を育てることができるか」を教えてもらい、その中からタイニーシュシュを育てることに決めました。土づくりからお手伝いいただき、種をまき育てていきました。収穫したタイニーシュシュは、家庭科の調理実習としてみそ汁に使いました。野菜を育てる活動を通して、自然環境を守る大切さに気付き、さらに調べたことについて自分の考えを発表しました。



＜そうぞうしよう 未来の自分＞（6年）

6年生は図画工作の学習で、周りに広がる百合丘の街並みから、自分のお気に入りの風景を絵で表しました。お気に入りの場所を決め、その場所の写真をGIGA 端末の写真機能を使って撮影する活動や、思い出を共有する活動を通して、お気に入りの場所をどのように表現すればいいかを考えました。描いていく中で、その場所でのエピソードを話してくれる子もいて、地域への思いが感じられました。





川崎市立 南百合丘小学校

校 長 福岡 雄二
児童数 8 4 2 名

住所 〒215-0017 川崎市麻生区王禅寺西 1-26-1 電話 044-966-6376

〈学校の創立〉

昭和 44 年 11 月 22 日

百合丘小学校より分離独立し開校

(学校ホームページをご覧ください)

〈学区区域〉

王禅寺西 1~4 丁目

王禅寺東 1 丁目 1 番 5~25 号, 2~17 番, 19 番

王禅寺東 2 丁目 1~12 番, 13 番 1~17 号, 14 番

王禅寺東 4 丁目 1 番

上麻生 2 丁目

高石 5 丁目 6~15, 23~28 番

高石 6 丁目

東百合丘 4 丁目 34, 35 番

百合丘 3 丁目

校歌

サトウハチロー作詞 渡辺浦人作曲

1. 肩をならべて 仲よくかよい
毎日正しく 学ぶはわれら
空の青さを よろこびたたえ
心にみどりを かさねるわれら ※
2. 声をあわせて 楽しくうたい
からだをきたえて 進むはわれら
枝の小鳥と 言葉をかわし
花にもやさしく ささやくわれら ※
3. 日ごと日ごとに ひろがる希望
あかるい笑顔で はげむはわれら
胸の願いを つらぬき通し
たがいに規律を まもるはわれら ※

※われらの母校 南百合丘

かがやく かがやく 南百合丘

☆やすらぎの森って何？

南百合丘小学校には、校庭の外周の南側斜面、および東側斜面に自然観察の場「やすらぎの森」があります。約 120 種類の豊かな植生を基本にしなが生き物が住む環境を作り、子どもの探求心を刺激する「不思議な森」にすることを目的として、創立 40 周年記念事業の中で造られました。下草を刈り、木を植え、様々な植物や昆虫が共生する自然観察の場として活用しています。

現在、維持管理のために保護者ボランティアや施設開放団体による年 3 回の整備作業を行っています。今年度 6 月に予定していた作業は悪天候のため中止となりましたが、9 月、12 月には、多くのボランティアが集い、整備作業を行いました。

今後、どのように維持管理をしていくかの課題はありますが、地域の力を借りるなどしながら、大切に守り続けていきたいと考えています。

本校では、この「やすらぎの森」を活用した学習に取り組んでいます。1 年生の生活科「季節の学習」と 3 年生の総合的な学習の時間「学校の『すてき』を調査する学習」の様子を紹介します。



☆ 1 年生 生活科

「あきの きらっと☆たんけんたい」

1 年生は、季節の学習で「やすらぎの森」を活用しています。校庭の木々が色づき、「かりん」や「ぎんなん」を見つけたことから、「やすらぎの森」でも秋を探すことにしました。夏と同様、6 年生に教えてもらいながらやすらぎの森をたんけんしました。踏むとクシャッと音のなるはっぱ、小さいどんぐり、細長いどんぐり、まつぼっくり、すすき、くりなどさまざまな宝物を見つけては、嬉しそうに集めていました。休み時間にも 6 年生を誘って、森に入ってくさんの宝物を集める姿が見られました。季節によって木々の様子が様々に変化する森が身近にあることで、目で見、肌で感じて、それぞれの季節を楽しむことのできる貴重な機会となっています。



☆ 3 年生 総合的な学習の時間

「めざせ！南百合丘のまちはかせ」

3 年生は、学校の『すてき』を調査する学習に取り組んでいます。その中の大好きな場所のひとつとして、「やすらぎの森」から調査を始めることにしました。各クラス数回、やすらぎの森へ行き、自分の興味を持った植物について調べました。本や GIGA 端末を活用しながら調べ、画用紙などにまとめ友達に伝え合いました。夏から冬にかけて学習を続け、季節の変化も感じながら学習を進めることができました。

また、元やすらぎの森実行委員の方々を講師にお招きし、お話を伺ったり、植物の葉や実を使った遊びを教えていただいたりしました。ある植物の実をティッシュに包んでつぶし、色を付けたところにレモン汁をつけると元の色が変化！科学実験のような変化に子どもたちは驚きの声を上げていました。子どもたちは植物の不思議と面白さに触れて新たな魅力を感じていました。

今は学校の中だけですが、私たちがこれらの学習を通して目指す子どもの姿は、「身近な地域の自然や人々に関心をもち、地域の一員として自分たちができることを考えて実践しようとする子」です。



これからも南百合丘小学校の宝である「やすらぎの森」を本校の特色ある学習の場として活用していきたいと考えています。



川崎市立 長沢小学校

校 長 中西 憲子
児童数 594 名

住所 〒215-0012 川崎市麻生区東百合丘 2-24-7

電話 044-954-5144

〈学校の創立〉

1976 (昭和51)年 川崎市立長沢小学校として

南百合丘小学校、生田小学校より分離

〈学区域〉

長沢3丁目18～20番

長沢4丁目

南生田2丁目21～27、29～31番

南生田4丁目19～25番

王禅寺東1丁目1番1～4号、35～38番

東百合丘1～3丁目

東百合丘4丁目1～33、36～49番

校歌

大澤功一郎 作詞
西崎嘉太郎 作曲

みどり豊かに 空青く
菜の花ゆれる 長沢に
光り輝く わが母校
ああ 明るく学ぶ
われらの 長沢小学校

鎮守の森に こだまして
楽しくはずむ 歌声は
丘にそびえる わが母校
ああ 仲よく進む
われらの 長沢小学校

夢は大きく はばたいて
学びの庭に 幸せの
心あふれる わが母校
ああ元気に伸びる
われらの 長沢小学校

■長沢小学校

〈取り組み項目〉

総合的な学習 緑のカーテン

2年「すてき！はっけん！もっと大すき長さわの町」(生活科)

生活科「すてき！はっけん！もっと大すき長さわの町」で、長沢の町を探検し、地域の人々と関わる活動を通して、長沢の町や人々に親しみや愛着をもって生活していこうとする姿につながっていききました。

町探検で見つけた「すてきのかげら」をさらに輝かせるには、その場所に何度も足を運び、そこに携わる人に話を聞くことが必要だと気づきました。インタビューしたことを伝え合い、話し合う中で、「長沢のまちっていいな」「長沢の人っていいな」という「すてき」を一人一人が感じていました。「ありがとう」の思いを手紙で表したり、「すてき」を広げるためにポスターを作成したりするなど、「長沢の町や人が大すき」という思いが育まれる学びとなりました。



3年「長沢のおタカラ発見クエスト」(総合的な学習の時間)

総合的な学習の時間「長沢のおタカラ発見クエスト」で、長沢の町の人・もの・こととの出会いを通して、自分の生活を支えてくれている地域の存在を知り、長沢の「おタカラ」を大切にしていきたいという思いが育まれていきました。

学習を進める中で、「おタカラ」にはそれに関わる人や生み出す人がいることに気づきました。子ども達は、その人たちを「長沢の町のタカラビト」だと考え、ありがたうの気持ちを伝える「サンキュー会」を開くこととしました。

当日は「タカラビト」の方々と保護者を招待し、合奏や合唱で感謝の気持ちを表現したり、自分が見つけた「おタカラ」や「タカラビト」を紹介したりしました。長沢の町の人・もの・ことへの思いがあふれる豊かな学びとなりました。

**4年「そなえて安心・安全バッチリ！」(総合的な学習の時間)**

総合的な学習の時間「そなえて安心・安全バッチリ！(防災)」で防災について探究し、知ったことや自分たちが考えたことを家庭や校内に広めたいという思いをもちました。

学習が進む中で、長沢全体の防災力アップをはかりたいと考え、「The 菜の花 day」で発表し保護者の方々に伝えることにしました。

当日には「自助・公助・共助」についての説明や備蓄しておいた方がよい物の紹介、災害が起きた際の動きなど、調べたことを上手にまとめ発表しました。模造紙や画用紙だけではなく、GIGA端末のスライドなども活用しわかりやすく伝えることができました。

**5年「長沢ecoプロジェクト」(総合的な学習の時間)**

総合的な学習の時間「長沢ecoプロジェクト」で、社会の問題とSDGs 17の目標に触れ、環境問題を中心に、その背景や原因について調べたいという思いをもちました。自分たちで追究する課題を設定し調べていくとともに、八ヶ岳自然教室で生ごみから堆肥を作る体験をしたり、その堆肥を使った農業について学んだりしました。

自分たちで収集した情報や、いろいろな方から聞いたこと、体験したことをもとに、自分たちが取り組めることを考えました。家庭で不要になったタオルを集めて雑巾に作り変える、使用済みのノートを集めて新しいノートに生まれ変わらせる活動に参加する、テープの芯を集めて緑を増やす活動に参加するなど、友だちと考えを交流していく中で、実践をすすめていきました。





川崎市立 虹ヶ丘小学校

校 長 井上 恵子
児童数 128 名

住所 〒215-0015 川崎市麻生区虹ヶ丘 1-21-2 電話 044-987-1579

<学校の歴史>

1976（昭和 51）年 4 月 1 日

<学区域>

虹ヶ丘 1～3 丁目

早野 1150 番

王禅寺 228～232 240～320 325～370 399～401

407～422 524～561 563 565～567

930～971 977 981～1022 1028

1037～1058 1063～1177

1180 番 4, 6 号 1181 番地

校歌

- 1 大空高く 風かおる
みどりの多摩に われら いま
真理の道を 学びゆく
ああ 虹ヶ丘小学校
若い力に 誇りあれ
- 2 山影遠く 澄みわたる
文化の丘に われら いま
楽しい集い 育ちゆく
ああ 虹ヶ丘小学校
清い心に 誇りあれ
- 3 輝く虹を 仰ぎみる
ひとみは燃えて われら いま
未来の望み 築きゆく
ああ 虹ヶ丘小学校
開くあしたに 誇りあれ

「早野の自然を感じて 心ゆたかに」 早野オリエンテーリング（全校児童）

早野緑地は、教室の窓からいつでも見ることができる、子どもたちになじみがある場所のひとつです。本校では、自分たちの住む地域の豊かな自然を感じられるこの早野緑地を少しでも身近に感じられるよう、毎年秋にたてわり班によるオリエンテーリングを実施しています。

今年度は、リーダーである 5 年生がたてた「自然に親しみながら楽しみ、仲間と協力しながら より仲よくなろう」というめあての達成をめざし、数々のミッションに取り組みました。その中の「早野の五七五をつくろう」で生まれた句を紹介します。

☆虹の森 心おちつく 美しさ

☆早野秋 自然のねいろ ひびいている

☆森の中 鳥がいっぱい ないている

☆たてわりで いろんな色を 見てまわる

☆土のあな 何がいるのか 気になるな

☆林の虫 きしょくが悪い ウニョウニョと

☆すみ小屋の 前につくった はいくかな

☆ラッキーだ せみのぬけがら 早野庵

☆さくにつく 黄てんとうむし みつけたよ

☆からすうり いがいと知らない 木の実です

☆早野には 竹がたくさん はえている

☆なげました どんぐりの実を 宇宙のはてへ





川崎市立 真福寺小学校

校 長 鈴木 みどり
児童数 225 名

住所 〒215-0014 川崎市麻生区白山 5-3-1

電話 044-988-4348

<学校の創立>

1982（昭和57）年4月1日

（東柿生小・柿生小・南百合丘小より）

開校記念日は11月29日

<学区域>

王禅寺西5丁目

王禅寺西6丁目1、3番～最後

王禅寺西7丁目

王禅寺西8丁目1～23、25番1号

王禅寺東4丁目

28～30・36番1～36・41号・37番

白山5丁目（アカシア）

校歌

S. 57. 7. 15 制定

作詞 須田高志 作曲 佐藤二美子

1. 緑あふれる 高台に 元気な声がこだまする
真福寺の子は 若竹のように 今日みんなでき
たえます くじけぬ心 じょうぶな体
2. 風さわやかな 校庭に 明るくあいさつ
ひびいてる 真福寺の子は 山百合のように
やさしく胸に 育てます ふれあう心 深い友情
3. 光みなぎる 教室に かしこいひとみ
かがやかし 真福寺の子は 太陽のように
希望にもえて 学びます
世界に通う 真理の道を
ああ われら真福寺 小学生

①（5年生）稲作体験（井上俊夫さんの田んぼ）

5年生は社会科と総合の学習で、元PTA会長の井上さんの田んぼをお借りして稲作体験を行っています。代かきや田植え、稲刈り、脱穀といった米作りの初めから終わりまで体験することで、お米を育てる大変さとありがたさを感じています。収穫したお米は、家庭科の学習において、自分たちで炊いて、美味しくいただきました。総合の学習の最後には、4年生に引き継いでいくという思いで、活動報告をしました。



②（6年生）地域活性化にむけて

6年生の総合では、「We are Shinpukuji leaders!」と題して、地域活性化を目指す活動を行っています。地域の方へのインタビューから、自分たちの住む地域における課題を探り、自分たちにできることを考えました。地域の良さを再発見しながら、真福寺の自慢である自然の豊かさを守るためにクリーン作戦を計画・実行したり、PRポスターを制作して真福寺の魅力を発信したりしています。

